

## 令和 2 年度 第 2 回安城市図書館協議会会議録

日 時	令和 2 年 1 1 月 6 日（金）午後 3 時 3 0 分	
場 所	アンフォーレ 3 階健康支援室・講座室	
出席委員	塚原 和江	会長
	岡部 晋典	副会長
	井上 和夫	委員
	加藤 りせ子	委員
	浮森 和美	委員
	早川 一雄	委員
	熊谷 忠信	委員
事務局	杉山 春記	教育長
	杉浦 章介	市民生活部長
	横手 憲治郎	アンフォーレ課長兼図書情報館長（以下館長）
	杉浦 誠	アンフォーレ課課長補佐兼図書情報係長
	稲垣 正典	アンフォーレ課図書サービス係長
	市川 祐子	アンフォーレ課図書サービス係主査
傍 聴 者	なし	
閉 会	午後 5 時	

**館長：**皆様こんにちは。本日は、お忙しい中、令和 2 年度第 2 回安城市図書館協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

私は、本日の典礼を務めますアンフォーレ課長の横手です。どうぞよろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルス感染症の予防対策といたしまして、市が主催する会議ではマスクの着用、手の消毒、隣との距離を開ける、そういった対策を取らせていただいております。あわせて 3 0 分に 1 回程度換気のほうもさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

次に、本日の会議の資料につきましては事前にお送りしております。本日お持ちいただいておりますでしょうか。もしお忘れになった方はお申し出ください。それから一部差し換えをお願いしたいと思います。まず A 3 の第 4 次安城子供読書活動推進計画【概要版】（案）、それから

今後のスケジュール、これは差し替えではございません。もうひとつ「Library of the Year 2020」についてということで以上3点を机の上に置かせていただきました。ご確認をお願いします。

また、議題の審議が終了しましたら、皆様との意見交換の場も予定していますので、よろしくをお願いします。

本日の図書館協議会の傍聴人はございませんので、このまま進めてまいります。

それから本日は委員の皆様全員ご出席いただいておりますので、会議は成立いたします。

続きまして、市民憲章の唱和を行います。皆様ご起立をお願いします。お手元の資料の1頁目裏面に記載されていますので、ご覧ください。私が、「わたくしたちは」まで申し上げましたら、引き続きご唱和をお願いします。

(市民憲章唱和)

ありがとうございました。ご着席ください。それでは、次に、杉山教育長がご挨拶申し上げます。

**教育長**：改めまして、こんにちは。ご多用の中を本日は遅めの時間ではありますが、本協議会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。11月に入りましてやっと夏の猛暑が薄らいで秋を感じるような季節となってまいりました。新型コロナウイルス感染症はなかなか終息の兆しが見えません。このアンフォーレもオープン4年目を迎えるわけですが、上半期の入館者数は、9月末現在で28万5千人でありました。これは昨年度の69万5千人と比べると、約60%の減という数値であります。今後も感染症対策を十分実施しながら状況を注視し対応していくことになろうかと思っております。できる限り図書館サービスの充実に努めてまいりたいと思っております。どうぞ皆様方のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。本日はご案内のとおり、「第4次安城市子供読書活動推進計画」のパブリックコメント案がまとまりました。この後十分ご審議をいただければ、と思っておりますのでよろしくお願いを申し上げます。さらにもう一つ、「Library of the Year 2020」の報告もさせていただきます。「Library of the

Year」 というのは皆さまご承知のように、学識経験者らがつくって  
います NPO 法人が授与している賞であり、これからの図書館のあり方を  
示唆するような活動を行っている機関に贈られる賞です。実は昨日、  
最終選考会が行われました。今朝の中日新聞にも大きく報道がされて  
おりました。今回はオンラインによる選考会が行われまして惜しくも  
大賞は逃しましたが、優秀賞に輝いたと同時にオーディエンス賞とい  
うのを受賞いたしました。これはネット上でエントリーしている機関  
の資料を見て、どれがいかを一般の方々が投票していただき決定す  
る賞であります。詳しいことにつきましては担当の者からご報告をさ  
せていただきたいと思います。特に評価された点につきましては、1 階  
の交流スペースと図書情報館との連携、ら Books など NDC をベースと  
した独自排架、学校図書館との連携及び市長以下、関係職員が一丸とな  
ってサービスに取り組む姿勢などが評価されました。身内である私がこ  
こでこういうことを言うのもなんですが、アンフォーレ課の職員の皆  
さま方、本当にお疲れ様でした。

今後も知の拠点の実現に向けて、引き続き努力してまいりたいと思  
います。本日はどうぞよろしく申し上げます。

**館長：**それでは議題に入ってまいります。

ここからは、慣例により、議事の取り回しを塚原会長にお願いいた  
します。

**会長：**それでは、議事を進めさせていただきます。議題（1）の「第4  
次安城市子供読書活動推進計画について」、事務局の説明をお願いします。

（稲垣係長が、資料1を説明）

ただいまの説明について、ご質問、ご意見等がありましたら、ご発言  
願います。

**E 委員：**今までの意見に応じて、新たにしっかりと対応されていると思  
いますが、読んでいて気になったことに対して質問です。2 ページの安  
城版ブックスタートについて、お母さんが赤ちゃんに絵本を読んであ  
げるとするのは、とても良い活動だなあとと思います。その中で、気  
になったのは10 ページ目の下から3行目のところで、半数以上の方が

賛同しておりと書いてありましたが、こういう活動だともっと大勢の方、ほとんどの方がありがとうございますという感じではないんですか。

**事務局：**ブックスタートに関しては、通常は読み聞かせやブックスタートの趣旨を知ってもらい、利用者カードを作ってもらったりの活動をしているんですが、今コロナの影響で、今年度に入ってそのような活動ができないということで、絵本を配っているだけとなっています。

本来やりたい読み聞かせをして、保護者の方にブックスタートの趣旨を知ってもらうというところが、一番やりたいところがやれていないということが半数という数字となったのかもしれませんが。このコロナが収まる、あるいは新しい生活様式で何か別の方法で読み聞かせも含めたブックスタートの意義を伝えながら、何か方法がないか健康推進課と検討を進めているところです。この半数以上という値が上がってくるかたちで来年度以降、新たな方法で活動できるように検討しているところです。

**E 委員：**ありがとうございます。赤ちゃんにお母さんが絵本を読み聞かせるというのはスタートとして重要なことと思いますが、お母さんの立場でどう嬉しいのか、どうしてほしいという要望があれば意見を吸い上げて、ほとんどのお母さんが賛同していただけるところまで持って行っていただきたいです。

**C 委員：**今の件について、アンケートというのは、いつどのように集めているのでしょうか。4カ月健診の時にお母さんたちに用紙を渡して、そこで回収するのか、あるいは家に持って帰ってもらって、ゆっくり書いてもらうのかを知りたいです。

**事務局：**コロナに入ってからアンケートでやっけていまして、最初4カ月のときブックスタートを受けていただいて、そのお子さんが大きくなって1歳6カ月健診を受けるとき健診票等の中にアンケートを入れておきます。いらっしゃったときにアンケート用紙を回収させていただいております。今コロナの関係で保健センターはなかなかゆっくりお話しすることができていない中での集計で、以前もアンケートを取っていたのですが、以前よりその回収率が下がっています。

**C 委員：**どれくらいの回収率ですか。

**事務局：**今、数字を持っていないのでお答えできず申し訳ありません。

会長：そのほかご発言ありますか。

D委員：2点ほどあります。ひとつは「家読」の推進についてです。親が子供に読み聞かせてやるということはとても大事なことです。ある時期かもしれないが、それをやっておくというのは大事だなあと思います。家に本があるという環境も大事かなと思います。ただアンフォーレの方で努力されていても親の方が仕事が忙しい、以前に比べると親が共稼ぎになる家が多くて子供の面倒をみてやれないという中で、家の方も努力されているのではないかと思うんですが、そのあたりを配慮していただけると良いかなと思います。親の時間を確保するというのはアンフォーレができることではないのですが、何らかの方法があるといいなあと思います。

2点目は中高校生を対象として読書をしてくれるように取り組むというのは、なかなか大変な取り組みです。うまくいくかどうかより頑張ることが大事なことであって、この取り組みを評価したいと思います。小中学校に学校司書が全校に配置されたということで、この方たちを大いに利用されるのが良いと思います。学校教育課とは十分連携を取りながらやっていくのがよいと思います。学校司書については平成27年に国の方針が決まり、県が動いてドーンと人を増やしたことがはたしてこれが良いのか。徐々にやっていけばその都度希望する人が採用できたのに一気に採用することが読書好きの子供を作るとき、卒にはまった様なことをやっているとだめだよ、教科書どおりのことでなく、みんなが気づかないようなことも発見して喜びを感じるような先生になっていただきたい。一人しかいない先生はとても貴重な存在で、一人の先生によって読書好きな子供が育つか育たないかが決まってくるかもしれないと思います。小学校に配置された学校司書は中学校、高校を見据えて読書の指導を行うようにしてもらいたいと思います。

A委員：司書を上手く生かすことが必要かなと思います。そのためには職員が司書さんにいろんな相談をしていき、声をかける中で相談に乗ってもらおうと、いろんなアイデアを出してもらえますので、やっていくうちに司書さんも育っていき、職員も育っていくと思います。持っているもので全てこなすのではなく、それぞれ持っているものは少ないかもしれませんが、そこから掛け合わせていきながら伸ばしていくと

いう発想で5年、10年かけてある程度形を作っていくという気持ちでいくと上手くいくのかなあとと思います。最初はえっと思うようなことも沢山あるのですが、えっと思って拒否してしまうと終わってしまいます。これやろう、あれやろうという形でやっていくと教えてくれる。電子図書もどうやったら子供たちが活用できるか、司書が調べてくれて教えてくれて進歩していくことが必要です。今年はタブレットを頂けることになっていますが、タブレットをどう活用すると上手くいくか司書さんにも相談しながら、アンフォーレさんにもお願いしながら、つなげていけると新しいものが見えてきて、これがヒントになるのではないかと思います。

**会長：**私の「おはなしどんどん」の今回の取り組みとして、どんぐり読書週間というのが、毎年今池小学校であります。そこでお話し会をさせていただくのですが、今年はコロナ禍のためにできないと言われました。「おはなしどんどん」としては、できないから止めますというのは嫌だったので何かやる方法はないかと考えまして、録音しました。給食の時間にみなさんが前を向いて給食を食べていると聞いたものですから、5分だけのお話を選んで、録音できるメンバーを募りまして、6本のお話を録音しました。図書館で機械をお借りして録音しました。それを学校に持って行き、給食の時に流してもらおうとCD-ROMを6枚作って持っていきました。

それから、「広場でおはなし会」を9、10、11月図書館でやりました。9、10月は外でやることができました。先月は雨だったのですが、屋根のある所を借りていただいて、アンフォーレ課が費用を出してくださいました。コロナ禍で「おはなしどんどん」のメンバーを募り6名が参加してくれて、その6名で30分のお話し会を開きました。15組の親子さんが来て下さったのですが、部屋でやっているより外の方が参加人数も多いような気がします。親御さんも楽しんで、通りがかりで来てくださったり、アンフォーレ課のほうで放送をして下さってるので、外に来てくださって、青空の中でとてもいいお話し会ができたなあとと思います。コロナ禍が続くようでしたら、12、1、2月の寒風の中では嫌ですが、小春日和の日にもまた外でできたらおもしろいかなあと感じました。コロナだからできないんじゃなく、何か考えていかななくてはなら

ないということを学ばせていただきました。

**E 委員：**提案が一つあります。コロナ禍の中で来れない人たちに本に興味をもってもらう、アンフォーレのホームページは本当にためになり、電子図書はどんどん見ていくと非常に面白いです。ところが中学生、高校生が利用してないというのは知っていないからだと思います。いろいろ見ていくととっても面白いので中学生、高校生が学校でタブレットを使うとき、アンフォーレのホームページに入って電子図書を事例でその場でやってあげるとこんなに面白いものがあるんだということがわかると思います。是非学校に行ったときに実際にホームページに入って電子図書を紹介すると、自らやる人が増えるかなと思います。

**館長：**今おっしゃられたように電子書籍のログイン数を増やす目標も達成しました。小中学校 GIGA スクールということで一人一台タブレット端末が配布されます。その関係でアンフォーレのホームページをアクセスしていただけるような手法も考えていきたいと思います。その中で電子書籍も借りられるようなかたちで、学校の方でもご指導いただけるとありがたいなと思います。

あわせて電子書籍をご覧いただく際にも図書の利用者カードが必要になってまいります。利用者カードの取得の促進にもつながってくるということも考えられますので、学校教育課、教育委員会とも連携してどういう形で進めていくかは今後詰めてまいりたいと思います。

**会長：**わたくしももう一点、社会教育委員の中で岐阜の方に出張に行かせていただいたときに、他の市の高校生がお話し会をしていました。そのお話し会の担当者になっていまして、高校生にお願いしていくというのも手かなと思いました。読んであげるといのは本を探すので、自分が親になったときにとってもためになるんじゃないかな、そういう循環を作っていきたいなというのが私の提案です。

**館長：**実は今年度実施ができなかったんですが、安城高校の生活科の生徒さんに対して読み聞かせの研修をアンフォーレが行うと、将来保育士さんを目指すといった方を対象にご依頼がございまして、やる予定だったのですが、このコロナ禍の中流れてしまったのですが、そんな話もありました。高校生に限らず、愛知学泉大学の生徒さんもアンフォーレで研修という形で、アンフォーレの中でスタッフと一緒に作業

する中で、読み聞かせも最後やっていただくということもしています。今回の4次の計画の中でも高校との連携というのがございましたので、市内6校とどういう形で連携していけるか、読み聞かせも念頭に置いて検討してまいりたいと思います。高校生や大学生は初めての経験で非常に緊張しながらも、効果があると今回思いましたので、是非検討していきたいと思います。

**会長：**活発な意見がいろいろ出まして良かったと思います。今後のスケジュールについて説明をお願いします。

(稲垣係長が、今後のスケジュールを説明)

**会長：**協議をしました議題(1)については承認でよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

本日予定されている議題はすべて終了しましたので、事務局にお返しします。

**館長：**閉会の挨拶を市民生活部長の杉浦が申し上げます。

**市民生活部長：**本日は活発なご意見、ご提言をいただきましてありがとうございます。改善に向けて取り組んでまいりたいと思います。本日の議題にありました第4次安城市子供読書活動推進計画について貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。頂いたご意見、ご提言はこの計画を推進する中でいろいろ施策に生かしてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

閉会 午後5時